

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	環 境 厚 生 常 任 委 員 会	会 議 場 所 第1委員会室	
		担 当 職 員 池 永	
日 時	平成29年3月27日(月曜日)	開 議	午前 10 時 15 分
		閉 議	午前 10 時 27 分
出席委員	◎小川 ○富谷 酒井 平本 齊藤 菱田 小島 馬場		
理事者 出席者			
事務局	池永		
傍聴者	市民 一名	報道関係者 一名	議員-名

会 議 の 概 要

1 委員長報告の確認

[小川委員長 委員長報告朗読]

<富谷副委員長>

馬場委員の反対討論中、「問題」を「課題」としてはどうか。

<馬場委員>

原案のままでよい。

<小川委員長>

原案でよいか。

<了>

2 議会だより原稿について

<小川委員長>

この内容でよいか。

<了>

3 わがまちトークの回答について

<小川委員長>

この内容でホームページに掲載することでよいか。

<了>

4 行政視察について

<小川委員長>

行政視察について、事務局から説明を。

<事務局主任>

これまで出ていた意見などをまとめているので、協議いただきたい。

[事務局資料配付]

<小川委員長>

前回から視察の候補地について意見をいただいているが、時期的なものを含め、一定の方向性を決めたい。

<酒井委員>

予算特別委員会の生涯学習部のところで、市と学園大学の共同研究50万円について、何をするのかテーマも決まっていないのに予算をあげるのはいかがという厳しい意見が出ていた。この視察も同じではないか。我々はまず年間テーマを決め、最終的に何を指すのかを明らかにしてから、視察について検討すべきである。本日は検討しなくてよい。

<馬場委員>

別途集まって相談してはどうか。

<小川委員長>

次回あらためてテーマと日程を検討する。

<酒井委員>

年間スケジュールを決めて、何を指すのかを明らかにしてから検討すべきものである。まず月例でしっかり年間スケジュールを決めていくべきである。

<事務局主任>

4月24日の月例で協議となると、5月に視察に行くのは厳しいので了承いただきたい。

<小川委員長>

次回の月例で協議する。

散会 ～10:27